もちろん、日本は不斷に進歩し、發達して止まぬ國であります。今日、われ〳〵が、もうあの優美な、竹の垣に冠木門、板戸に紙の間仕切りといつた昔の生活に具現されたまゝの無防備・無警戒・の心構へで、國際的存立競爭の場に臨むことの出來ぬことは申すまでもありませぬが、われわれ日本民族のこの平和と靜寂とに惠まれた優美な心、寛厚な魂は、世界のどこに施しても融通無礙のものであつて、やがて二十幾億の人類がこの平和の心、寛厚の魂の前に隨喜する日の遠くないことを私は信じて疑はぬのであります。日本國を以て世界の平和を攪亂する人道の敵であると誣ひ、日本人を以て非學問的な、ひとりよがりの非協調性を以て、人類の幸福を亂る國際的外道であるとするものがあつたならば、それが外國人であると、國民の中の或るものであるとを問はず、私は敢然としてそれに抗議したいのであります。

（註記）遠江國で明・大・昭・三代に亙り、最も多く人材を出して居るのは小笠郡で、榛原郡がこれにつぐ。これはこの二郡が、武田氏、海道經略の根據地で、德川氏との間に最もはげしい爭奪の目標となつた地域であつた關係上、百姓がひどい邊境に居て、その人間性を砌磋されて來て居る結果であると考へられる。殆ど疑を容れるの餘地がないやうだ。

東洋民族論　終

『東洋民族論』
定價二圓
昭和十五年五月十四日印刷
昭和十五年四月十八日發行

著者　白柳秀湖　東京市京橋區京橋三ノ一
發行者　千倉豐　東京市神田區神保町三ノ二元
印刷者　山縣精一　山縣製本印刷株式會社印刷
發行所　東京・京橋・第一相互館　千倉書房　電話京橋(56)三九七一(八八)二一六(七七)五七九(八九)
振替東京九七八
【外地定價　二圓二十錢】
山縣製本印刷株式會社印刷　・　勝井製本

白柳秀湖著作年表

書名	内容	發行年月
離愁	小品集	明治四〇・一〇
鐵火石火	論文集	明治四一・六
黄昏	創作	明治四二・四
新秋。	小品集	明治四二・九
秀湖小品	小品集	明治四三・一
町人の天下	史論	明治四三・三
英雄篇（親分子分）	史論	明治四三・三
俠客篇（親分子分）	史論	大正元・八
大日本開門史△	史論	大正二・三
浪人篇（親分子分）	史論	大正三・三
强者弱者。	隨筆集	大正三・一〇
二千六百年史	歷史	大正五・五
藤十郎と富藏	創作	大正一〇・五
事實の叛逆	創作	大正一四・一
社會講談選集	創作	大正一四・六
常夏の國	創作	大正一五・四
聲なきに聽く	隨筆集	大正一五・三
財界太平記	史論	昭和四・二
近世日本經濟發達史（民衆教育講座）	史論	昭和四・二
坂本龍馬（大衆文藝全集第二十一卷）△	創作	昭和四・三
西園寺公望傳	評傳	昭和四・六
日本經濟革命史*	史論	昭和四・一一
改訂親分子分（英雄編）*	史論	昭和四・三
改訂親分子分（俠客編）*	史論	昭和五・二
暗殺强奪實話（明治大正實話全集第十卷）	實話	昭和五・三
改訂親分子分（浪人編）*	史論	昭和五・四
綾財界太平記	史論	昭和五・四
社會展開の動力*	論文集	昭和五・二
改版驛夫日記（新興文學全集第九卷日本篇）	創作	昭和五・二
食慾と愛慾*	論文・隨筆集	昭和五・三
住友物語*	史論	昭和六・三
日本富豪發生學（下士階級革命の卷）*	史論	昭和六・九
日本富豪發生學（閥族財權爭奪の卷）*	史論	昭和六・三
岩崎彌太郎（偉人傳全集第十二卷）	評論	昭和六・三
現代財閥罪惡史*（續々財界太平記）	史論	昭和七・五

「常夏の國」から「住友物語」初版に至るまでの年表には「新秋」を逸す　*偽版あり　△絶版本あり

【其一】書名の下に＊印を附したるは千倉書房發行

書名	内容	發行年月
親分子分（政黨編）*	史論	昭和七・九
日本外交の血路*	論文集	昭和七・三
左傾兒とその父*	評傳	昭和八・六
（日本富豪發生學土藏脫皮の卷）		
世界經濟鬪爭史*	史論	昭和八・九
日本女性史話*	史論	昭和九・一
維新革命前夜物語*	史論	昭和九・四
山水と歷史*	隨筆	昭和九・七
日本民族論*	史論	昭和九・九
自然と勞作	隨筆	昭和九・一一
民族日本歷史（建國編）*	歷史	昭和一〇・四
民族日本歷史（王朝篇）*	歷史	昭和一〇・六
民族日本歷史（封建篇）*	歷史	昭和一〇・八
民族日本歷史（戰國篇）*	歷史	昭和一〇・一〇
民族日本歷史（近世篇）*	歷史	昭和一〇・一二
歷史と人間*	史論・隨筆集	昭和一一・三
明治大正國民史（明治初篇）*	歷史	昭和一一・六
明治大正國民史（明治次篇）*	歷史	昭和一一・九
明治大正國民史（明治中篇）*	歷史	昭和一二・二
明治大正國民史（明治終篇）*	歷史	昭和一二・七
定版民族日本歷史（五編全部）*	歷史	昭和一三・二
明治大正國民史（大正概篇）*	歷史	昭和一三・四
歷史と民族文化*	史論・隨筆・集	昭和一三・七
世界諸民族經濟戰夜話	史論	昭和一三・一一
日本民族と天然*	史論・隨筆・集	昭和一三・一二
日支交涉史話	史論	昭和一四・一
定版維新革命前夜物語*	史論	昭和一五・一
定版世界經濟鬪爭史*	史論	昭和一五・一
定版日本經濟革命史*	史論	昭和一五・二
中上川彦次郎先生傳（初版限定非賣品）	評傳	昭和一四・一〇
東洋民族論*	史論	昭和一五・五
定版明治大正國民史（五編全部）*	歷史	昭和一五・五

【其二】書名の下に＊印を附したるは千倉書房版

白柳秀湖名著

【定版】

民族日本歴史

日本人の世界觀と、人生觀を創造する、不朽の國史出づ!!

民族日本歴史は、從來の淺薄かつ抽象的また保守的なる凡ての日本歴史書に變革を與へ、後代の世界史にわが日本生成の大指針を悉く雄大な意圖を以て描かれた、全く新しき國民の歴史である。

定價各冊一圓七十錢
送料十四錢

【完成】

明治大正國民史

日本は何處より何處へ行く!

此の唯一の指標・現代日本生成の秘鍵・渇望の明治大正史いづ!

明治大正國民史は、我が新興史學唯一の確立者たる著者の、偉大なる修史精進の所產だ。又本史こそ、實に明治に生れ大正に育ち、而して現代日本の擔當者たる吾々が長年月間渇望せる自己認識の案内書であり、又現代日本再評價の正しき指導者だ。しかも、從來の明治維新を以て、復夷討幕の側面のみと、或は物質發展の側面のみから語らんとせる維新史の常識を打破して、日本民族の進歩力・開拓力・創造力の積極性を摘出したる本編こそ近來の大收獲である。

王政復古編（初）
維新改革編（次）
憲政樹立編（中）
大陸進出編（終）
世界雄飛編（大正概論）

定價二圓
送料十四錢

各冊好評大增刷!!

建國編
王朝編
封建編
戰國編
近世編

東京・京橋 第一相互館
千倉書房
振替東京 九七八

905
48